

令和元年度 第1回 関市国民健康保険運営協議会議事録

司会 保険年金課長

午後1時30分開会

- ・委嘱状の交付
- ・市長挨拶
- ・委員自己紹介
- ・事務局紹介
- ・会長及び職務代理者の選出
- ・会長あいさつ
- ・議事

規定により会長が議長となり、議事を進行する。

議長 議題1 関市国民健康保険運営協議会について、事務局から説明をお願いします。

事務局 議題1に関して、運営協議会の法的位置づけや役割について説明する。

議長 ただいまの説明について、ご質問、ご意見はありませんか。
ご意見がないようですので、次の議題に移ります。

事務局 議題2に関して、特に下記の点について説明する。
(国民健康保険の概要)
・関市は平成30年度に税改正をして平成29年度との比較で国民健康保険税が減額となった。
・税率等の決定は市町村に委ねられているが、最近全国的に各都道府県内で税率を統一する動きがある。
(平成31(令和元)年度関市の主な国民健康保険事業)
・今年度の関市の主な事業として、強制徴収の強化、ジェネリック医薬品の利用促進による療養給付費の削減、過誤等による費用返還対策の強化、糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施に力を入れたい。
・地域医療の継続のため、医師確保、経費の削減に努める。
(関市国民健康保険診療所の状況)
・現在関市が運営する診療所は洞戸診療所、板取診療所、津保川診療所の3つがある。そのうちの津保川診療所は平成28年4月1日～令和3年3月31日までの指定管理となっているため大丈夫だが、それ以外の診療所の医師はあと数年で定年になってしまうため、次の医師が見つからなければ存続できなくなってしまう。それに備えて、中濃厚生病院に医療拠点病院となってもら

えるよう調整をしている。

(平成 30 年度関市国民健康保険特別会計 (直診勘定) 決算 (案))

・板取診療所、洞戸診療所ともに受診者数は増加している。津保川診療所の受診者数が減少しているのは、昨年の災害が影響していると思われる。

・診療収入は減少しており、それを補うために繰入金が増加している。

((事業勘定) 歳入歳出決算表)

・平成 30 年度の決算額が歳出、歳入とも平成 29 年度比で 20% 近く減少しているのは、平成 30 年度の制度改正によって、関市がそれぞれの機関とそれぞれの名目でやりとりしていた補助金・交付金と納付金・拠出金を県が取りまとめられることで支出金と納付金という形で歳入と歳出が相殺されてやりとりが簡素化したから。

・平成 30 年度の税改正による税収入の減少はおよそ 4 億円。

・平成 31 (令和元) 年度に県に支払う納付金は前年比 3 億円 2,000 万円の増加。来年度の納付金はまだ示されていないが、今年度は基金を取り崩して財源を確保するが、来年度には税収入の増加が必要。

・納付金の計算方法については次回の説明としたい。

保険年金
課長 補足説明をさせていただきますが、平成 30 年度と比較して平成 31 (令和元) 年度の納付金が 3 億 2 千万円の増加となっておりますが、これを被保険者 1 人当たりの金額にすると、約 16,000 円。4 人家族なら 6 万円から 7 万円ほどの増税となります。

国民健康保険基金については、平成 22 年度に一度 0 円になってしまったが、最近はずっと一般会計からの繰入金をもらっていたおかげで、9 億 6 千万円の基金が貯まった。しかし、平成 31 (令和元) 年度はその繰入金を受けずに、基金の取り崩しだけでやりくりすることになります。

関市の国民健康保険税は県内 21 市のなかで安い方から 2 番目です。前回下げすぎたのかもしれない。

関市の国民健康保険税が岐阜県の示す標準税率と大きく離れている場合に、被保険者が納める税の激変を避けるという意味では、一般会計からの繰入はせず、段階を踏んで標準税率に近づけたと思います。

国民健康保険の被保険者には低所得者が多く、他の被用者保険から大金をもらっているため、そういったことも考慮する必要があります。

4 号委員 先ほどの医療費の適正化についての説明の中で触れられていなかったのでご紹介しますが、関市はジェネリック医薬品の使用率が 77% であり、県内で上から 5 番以内には入っています。

保険年金
課長 武儀医師会さんのご協力もあって関市は高水準でいられるかと思いますが、国の目標が 80% であるため、もう少し上がるといいと思います。

- 議 長 以上のことについて、ご意見、ご質問はありますでしょうか。我々もただ座っているだけでは済まないようです。今までより関心を持って参加する必要があるのではないかと思います。
- 1号委員 ジェネリック医薬品について、私たち一般人は何の知識もないので、お医者さんが教えてくれなければそんなことが分からない。どうしたらいいですか。
- 2号委員 ジェネリックは医師から処方されない場合には、ジェネリック希望シールで意思表示ができます。以前のジェネリックは同じ効用であるとはいっても、多少作用の違いがあったようだが、最近は同じ工場、同じ原料で作られているものも多いので効果は全く変わらないと思います。我々医師も、薬剤師もジェネリックをおすすめしている。また、ジェネリックを処方すると診療報酬が上がるので、処方する側にもメリットがあります。
- 1号委員 私たちは薬代が安ければ安いほど良い。その希望シールは保険年金課の窓口に置いてありますか。
- 事務局 はい、置いてあります。そのシールが貼ってあれば医師も薬剤師もジェネリック薬品を積極的に探してくれます。
- 1号委員 関市の国民健康保険税は県が示す標準税率より安いとの話だが、県内では何番目くらいですか。
- 4号委員 毎年1回配られる岐阜県の医療の統計がありますが、平成29年度版がこの前もらえましたが、まだ最新の平成30年度版はもらえていませんね。
- 事務局 正確な順位は即答できませんが、引き下げもあって平均よりはかなり安いと思います。しかし、もうすぐ団塊の世代が70歳になります。70歳になると療養給付費が7割負担から8割負担になるため、支出が増えることとなります。そういったことも税収を増加させなければならない要因のひとつです。
- 議 長 ほかにご意見、ご質問はありませんか。
ご意見もないようですので、以上をもってすべての議題が終了しましたことを報告して、進行を事務局の方にお返しいたします。

午後3時00分

保険年金課長より議長及び委員に、慎重な協議及び議決に対してお礼を述べ、閉会。